

予算決算

一般会計

議案第103号

令和2年度松前町一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算それぞれ2億167万円を追加し、総額を15億7248万円とする。

◎産業建設部所管

問 町道西古泉筒井線の開通式の式典の規模は。また、新型コロナウイルスが終息しない場合の規模縮小は検討しているのか。

答 完成を2月末と見込み、開通式は3月13日を予定し、招待人数は約70人。
 稲田・伊賀上委員

県内のコロナ感染状況を踏まえ、式典の内容・規模・招待者等、今後検討したい。
問 西古泉筒井線は災害道路と位置付けているが、避難所である松前公園への入り口が狭い。公園の入り口を広くす

念願であった 町道西古泉筒井線、 本年3月に開通！



る考えはあるのか。
 また、ラウンドアバウトは、自衛隊のトレーラーなど大型車が通行できるのか。

答 松前公園の入り口の幅については、今後、検討する。
 村井・西村委員

また、ラウンドアバウトは、信号操作がいろいろな交差点として、道路の新設に併せて整備したもので、大型車の通行は、

内側の余裕地を使えば通行できる。

問 松前町公共工事等発注担当者倫理規程を9月1日に施行し規程に基づき行動していると思うが、

予算上程が遅いのではないか。現在まで業者との業務上の連絡はどうしていたのか。
答 規程制定後、担当職員と事業者との業務連絡は、役場の固定電話を使用し

ている。予算可決されれば、1月から職員に携帯電話を貸与したい。

問 農地集積推進は、大規模農業を目指すうえで、農業の収益を高めるために、これからの課題であると思う。機構集積協力金制度は、今後、いつまで続くのか。
答 令和3年度までは、10アール当たり1万5千円の制度が続き、令和4年度・5年度は、10アール当たりの単価が1万円に下がり、その後廃止される見込みである。
 渡部委員

◎保健福祉部所管
問 自立支援給付事業及び障がい児通所給付事業の利用者増の人数及び要因は。また、コロナの影響は。
答 自立支援給付事業は、令和2年度が延べ4172人の利用見込み。昨年対比107人の増加。
 藤岡委員

昨年対比157人の増加。サービスの利用者が年々増加しており、どのサービスにおいても対象者が増加していることが要因と考えている。
 コロナの影響により増額となったサービスもあれば、減額となったサービスもあり、サービス全体で見れば増加となっている。

問 毎年同じ時期に事業費の大きい補正予算を追加計上し、事業を執行しているが理由は。

答 当初予算算定時は、実績を基に積算しており、毎年、この時期に、実績見込みを再積算して、12月補正で対応している。
 田中委員

サービスの種類は20種類くらいあり、サービスによって費用単価が異なっており、サービス費用額を積算するのは難しい。今後は精査して、当初予算を組んでいきたい。

問 コミュニティ対策事業の補助内容は。
答 地域から要望のあった音響設備、机、いす、視聴覚設備などコミュニティの整備に対する補助である。

問 6月補正で5地区の申請に対し、2地区採択、3地区は不採択となった。前回不採択となった3地区ではなく、前回申請していなかった地区が採択された理由は。

答 自治総合センターから新型コロナウイルスの影響で、ソフト事業の中止に伴い、ハード事業の追加募集があった。
 田中委員

募集の条件は、祭りの道具を対象外とし、令和2年度中に事業完了すること。
 令和2年度の不採択地区と、3年度に申請のあった地区を対象に、庁内の審査委員会で諮った結果、条件に該当する2地区のうち、過去に補助を受けていない地区を採用することとなった。

